

信州 知の連携フォーラム

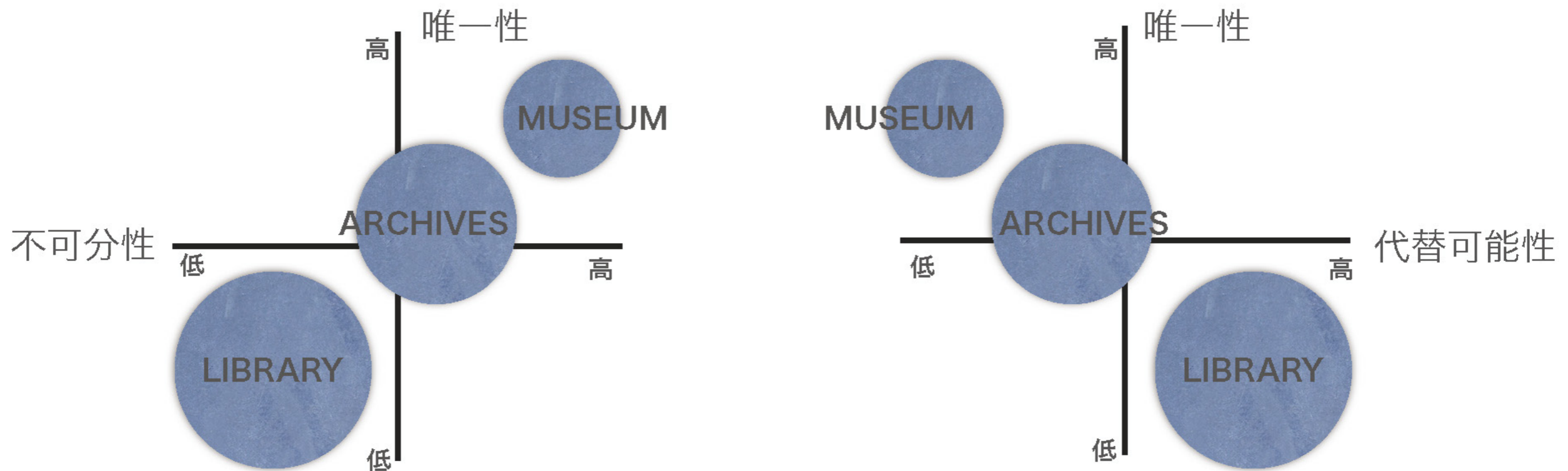
戦略的MLA連携による地域創生

MLA連携はデジタルがキモ

MEDIA MESSAGE ON CARRIER
+
METADATA

MLAそれぞれの特性

→デジタル化: METADATA + DIGITAL IMAGES



MLA連携とLIBRARY

- ✓ポータル(入口)
- ✓アクティブな利用者
- ✓レファレンス力
- ✓デジタル情報化

LIBRARY: 情報の開示・公開が原則の機能

市民視点・活用視点でのプラットフォーム

COLLECTION

DESCRIPTION

PUBLIC ACCESSIBILITY
OPEN

集積—固定—記述—検索—公開—活用

IDENTIFICATION

SEARCH

震災アーカイブ

NHK NEWS WEB 2016年(平成28年)12月12日 月曜日

津波で廃止されたバス路線 1便限定で復活
仙台

12月11日 18時57分

東日本大震災の津波で大きな被害を受け、住む人がなくなった仙台市の沿岸部の地区で廃止された市のバス路線が、かつての住民の要望を受けて11日、1便限定で運行され、乗り込んだ人たちが車窓からの風景を楽しみました。

1便限定で運行されたのは、仙台駅と仙台市若林区の荒浜地区を結ぶ市営バスです。このバスは、震災後、地区が災害危険区域に指定されて住む人がなくなり、震災直後に廃止されました。

しかし去年、宮城県内の美術作家が終点だった場所にバス停をイメージした作品を置いたところ、話題を呼び、かつての住民などから復活を望む声が相次いだため、仙台市が1便限定で運行しました。

11日は、募集した定員いっぱいのおよそ50人が仙台駅でバスに乗り込み、以前と同じルートを通して海岸近くにある終点の深沼に向かいました。乗り込んだ人たちは、かつての面影が残る車窓からの風景を楽しみ、終点到着すると、バスの前で記念撮影しました。

現地では、かつての住民が待ち受けて食事をふるまったほか、地区を歩くツアーも開かれ、バスに乗ってきた人たちは、残された建物の跡を見ながら震災前の地区の姿に思いをはせていました。

この地区で暮らしていた79歳の男性は「みんな家がなくなって悲観的になってたけれど、こうやって人が来て笑い声が増えると、未来に希望が持てます」と話していました。バスの復活のきっかけを作った美術作家の佐竹真紀さんは「こうした企画を続けて、地元の人には懐かしい場所に、初めて来た人には楽しい思い出が残る場所になってほしい」と話していました。

全国の天気 地震・津波情報

LIVE 阿蘇山 ライブ映像

気象 雨雲データマップ

ソーシャルランキング

- 函館山ロープウェイ 滑車に挟まれ従業員死亡
- 防衛省 自衛隊機の緊急発進で中国に反論
- 新千歳空港 雪の影響で約1500人が空港で一夜
- ロシアに「野菜工場」 日本企業が相次ぎ建設
- トルコのテロ事件 クルド人過激派組織が犯行声明

もっと見る

アクセスランキング

- 自殺の高校生 直前に親友にメッセージ 新潟
- ノーベル文学賞 ポプ・ディランさんのメッセージ
- 函館山ロープウェイ 運行中止で一時山頂に数百人



仙台市荒浜地区 3.11おもいでアーカイブ/海辺の図書館/荒浜再生を願う会



共知・共創

新しい知るプロセス

実感ある知

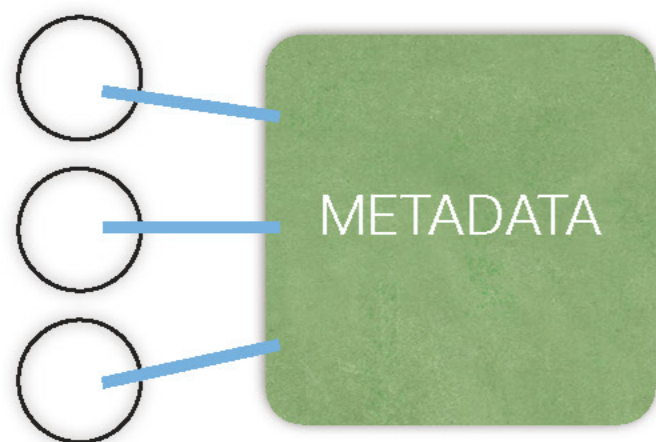
知的自立

住民自治の場

信州の学び

信州 知のプラットフォーム

市町村/大学
図書館システム



県立
図書館システム

LIBRARY



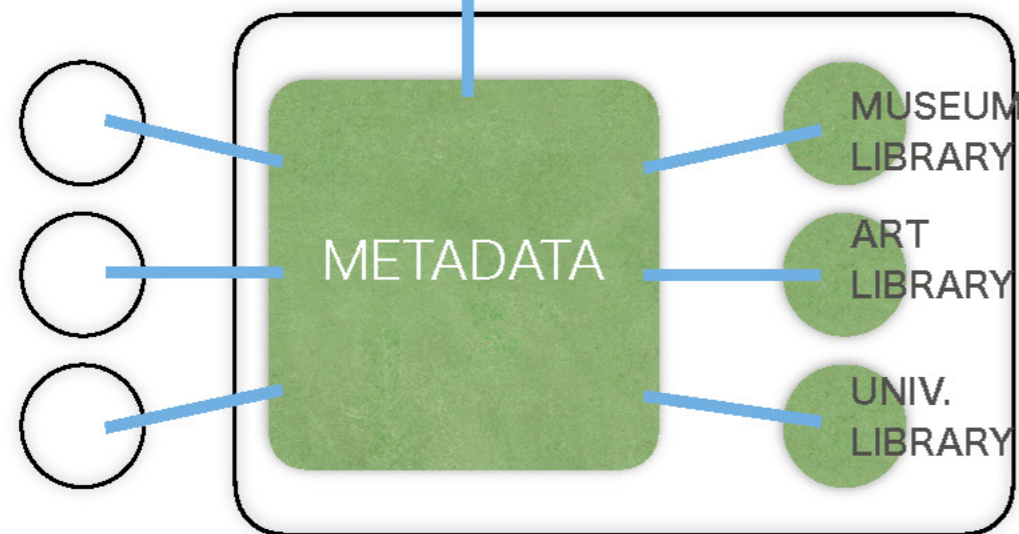
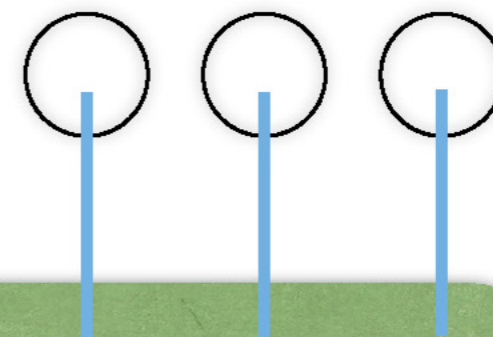
デジタル
アーカイブ

MUSEUM

信州 知のプラットフォーム

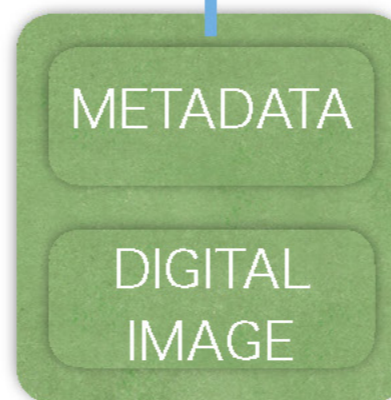
NATIONAL LEVEL
OTHER AREA

信州デジタルコモンズ・ポータル



図書館システム

LIBRARY




デジタル
アーカイブ

LIBRARY
MUSEUM
ARCHIVES
UNIVERSITY



データベース



信州 知の連携フォーラム

戦略的MLA連携による地域創生